

幕張南小学校の素晴らしい点は、学年を追うごとに、礼儀をわきまえ、規律正しく生活できるようになっていく点です。成長の裏には、子供自身の発達、家庭の支援、そして1年生からの積み重ねがあると思います。

全校のさまざまな「成長」を感じられるのが運動会。

表現、レース、紅白リレー、応援を見ながら、一人一人の成長を感じました。

今回の運動会は、コロナ感染症対策が緩和されて初めての運動会でした。「これまで」の概念が一度崩れ、新たに、そして良き伝統も考慮しての運動会となりました。

(2日間の運動会)

天気予報は、13日も14日も雨模様。職員一同、日々、スマホの天気予報とにらめっこでした。

13日。曇り。決行しました。徒競走、表現。このまま、天候がもってほしいと思いましたが、無情にも雨。プログラムでは、4・6年の障害走、大玉送り、紅白リレーが残っています。少し待っていただければと思いましたが、グラウンドが整備できないほどの雨。残りの競技は、火曜日に延期となりました。

問題は、6年生児童との保護者が一緒に行うレースが終了していないことでした。今日でなければ参加できない保護者の方が多くいると予想されました。ある保護者の方がお話ししていた「この保護者レースが、我子と手をつなげる最後の機会になるかもしれない。」との言葉がよぎりました。何とかしなければ・・・。「体育館でレースをし、写真撮影したい。」という体育主任の案は、素晴らしかったです。親子で手をつなぎ笑顔で写真撮影の後、「じゃんけん親子レース」を実施しました。保護者の皆様の協力もあり、盛り上がりました。

雨に見舞われる中、対応をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

16日は、すっきりとした天気でした。

保護者の皆様の参加は少ないであろうと思っていました。お仕事の都合をつけ、参加してくださった方も多く、大きな声援がありました。

延期したプログラムを全て行い、閉会式まで無事に行うことができました。

(表現)

昨年度までは、コロナ感染症予防、大規模改造工事もあり、各学年で行っていましたが、今年度からは、低学年、中学年、高学年、2学年合同の表現となりました。

2学年合同となった良さは、上の学年の子供たちの自覚が高まること。下の学年が上の学年の動きに引っ張られていくことです。互いが刺激し合う事で、より良いものを仕上げよう

とする気持ちが生まれました。

発達段階に応じ、かわいらしい、かっこいい、美しい表現活動でした。

表現の動きを覚えることは、難しいです。一緒に覚えてくださったり、お子さんをはげましてくださったりしたご家庭も多いと思います。ご協力に感謝しています。

(大玉ころがし)

4年ぶりの全校一斉の団体競技でした。1年生の保護者の方に「子供が大玉ころがしをとっても楽しみにしている。」と言うお話を聞きました。雨での短縮の場合、まず、この競技からカットしようと思っていました・・・

大きな赤玉・白玉を赤組、白組の全員で動かすという一体感、高揚感は大きいと改めて思います。

(応援団)

規律正しく、よく動き、良い姿勢で、思いっきり声を出す。あるべき応援団の姿を体現してくれました。昼休みの応援練習では、低学年の子供たちが、応援団の真似をしていました。「応援団は、かっこいい」と多くの子供たちが感じていたと思います。応援席の子供たちも、4年ぶりに声を出せる応援、ウエーブを楽しんでいました。

(リレー)

バトンパスの練習を休み時間に行っていました。リレーの選手になることは、本人、そして保護者にとってもとても嬉しいことです。代表として立派な姿で当日を迎えました。

(後片付け)

おやじの会の皆様。ご協力ありがとうございました。また、最後まで残り一緒に片付けてくださった保護者の皆様ありがとうございました。皆様のご協力で、次の日に児童が活動できるよう校庭が整いました。

(放送)

運動会は、放送なくしては盛り上がりません。

地域の皆様、運動会練習中の音響へのご協力に心より感謝いたします。

運動会は、子供、教職員、保護者、地域でつくりあげる物です。皆が、子供の笑顔で動く姿を優しく見つめ、喜べる環境があってこそ成り立ちます。いい運動会を皆様と共につくれたことに感謝します。ありがとうございました。